

治療の流れ

- 1 上下左右のまぶたを清浄します。
- 2 横になります。
- 3 必要に応じ、まぶたに麻酔を塗布します。
- 4 上下左右のまぶたにハンドピースを置いてハンドピース内のピラミッド先端を各部位毎に10回、合計40回軽く押し当てます。

この治療を約2週間おきに3回行って終了です。



下記の方は、
治療を受けることが
できません



- 妊娠または妊娠していると思われる方、授乳中の方
- 治療部分に腫れ、感染症、炎症、がんなどがある方
- 著明に日焼けをしている方
- ケロイド体質、血液凝固障害、創傷治癒に異常を有する方
- 眼科の細隙灯検査で眼類天疱瘡、瞼球癒着などの瘢痕性眼疾患を有する方
- 活動性の眼炎症病変があり医師が治療を不適と判断した方
- ドライアイの種類や程度から他のドライアイ治療を優先した方がよいと判断した方

お問合せ

大原ちか眼科

☎ 092-722-0303

ドライアイで お困りの方!



「目がかわく」だけでなく「目がかすむ」「まぶしい」「目が疲れる」「目が痛い」「目がゴロゴロする」「目が赤い」「涙が出る」「目ヤニがでる」などさまざまな症状でお悩みの方、
当クリニックでは、
新しいドライアイ治療
を始めました。



製造元
ホームページ



※自費診療です。適応を判断するため、治療前の別日に保険眼科診療を行います。

TMA® 治療について

「ティクセル」は本体とハンドピースからなる美容とドライアイ治療用のイスラエルで開発された医療機器です。ティクセルのハンドピースをまぶたに置いて、ハンドピース内で 400℃ に加熱された先の尖っていないピラミッド形状のチタン合金チップが、まぶた表面を千分の一秒単位の極短い時間で軽く押します。これはサーモメカニカルアブレーション (TMA®) と呼ばれる特許技術です。この治療を約 2 週間おきに合計 3 回程度行います。

この作用によりドライアイの原因となるマイボーム腺開口部の「つまり」を取り除き、マイボーム腺の働きを高め、涙に含まれる脂分の分泌を良くすることで、ドライアイ症状の改善が報告されています。



〈ハンドピース〉

tixel®

ティクセルの由来：
元々はまぶたのシワやたるみ、シミなどの改善を目的として美容用に開発され米国をはじめ医療機器として承認されています。
Tixel は Titanium の Ti と Pixel の xel からなる造語で商標登録されています。

〈本体〉

よくあるご質問

治療時間はどのくらい？

約 2~3 分で終了いたします。

治療は痛い？

まぶたは痛みを敏感に感じる部分のため若干の痛みは感じます。痛みを感じやすい方には医師の判断で上下のまぶたに麻酔剤を塗布しますので痛みは軽減されます。
麻酔の塗布時間は 5 から 10 分程度です。麻酔がきれたあと日焼けしたようなひりひり感を感じますが心配はいりません。

生活制限はある？

治療後 24 時間経過は特に生活制限はありませんが極小さなカサブタが残存していることはあります。無理に剥がさず自然消失を待ちます。治療部位に痒みがある場合は保湿クリームなどを塗布してください。

【参考文献】

Ludger Hanneken, et al. A novel option for treating dry eye disease. Cataract & Refractive Surgery Today 2022 May;46-48



Sunil Shah, et al. The effect of non-ablative thermomechanical skin treatment (Tixel®) on dry eye disease: A prospective two centre open-label trial. Cont Lens Anterior Eye 2023 Apr;46(2):101811



治療後に気を付けることは？

治療当日の水泳やサウナ、激しい運動はさけて下さい。治療当日の夜及び翌朝の洗顔は顔を石鹸などでゴシゴシ洗わずぬるま湯でやさしく洗ってください。
外出時は日焼け止めクリームを塗るなど紫外線対策をしてください。

治療の後、まぶたが赤いけど大丈夫？

まぶたが赤くなるのはまぶたにたくさんの熱を与えたからです。自然に赤みが消失しますので心配はありません。

安全なの？安全の理由は？

- ・ 光、レーザー、ラジオ波を一切放出しません。
- ・ 熱エネルギーを皮膚の奥に潤沢に届けて「若返らせる」システムで安全性が高い器械です。
- ・ ピラミッド先が加える圧力は、まぶたの表面を軽く「圧迫」する程度で、出血もなく眼球への圧力は無視できます。
- ・ 米国 FDA をはじめ、EU、オーストラリア、ブラジル、南アフリカ、韓国、台湾、タイ、イスラエル、その他の国々で医療機器として承認されています。
- ・ 東邦大学医療センター大森病院において、マイボーム腺機能不全に伴うドライアイの臨床研究で安全性・有効性が確認されています。
- ・ ただし皮膚に熱を与える施術のため、軽い熱傷のリスクが全くない訳ではありません。
- ・ 詳しくは医師までご相談ください。